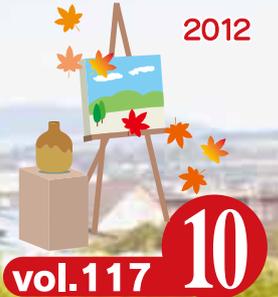


お楽しみ サタダ

2012



vol.117

10



はいっポーズ!

《北見地区・小泉》

織田由佳里さんと若菜ちゃん・彩菜ちゃん・翔くん
(紹介は2ページです)

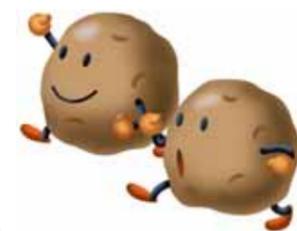
特集

平成24年産
食用馬鈴しょと玉葱の需給動向



加工用馬鈴しょの 収穫作業

季節の薫り



残暑が続く9月中旬、加工用馬鈴しょの収穫作業が行われている。

トラクターに牽引された「ポテトハーベスター」で掘り起こし、腐れなどを取り除いて収穫されていく。

トラクターを運転する人、ハーベスターの上で選別する人たちがそれぞれの役割をこなし、作業がスムーズに進められ、コンテナはあっという間にいっぱいになる。

整然と並んだコンテナはJAの貯蔵施設に運ばれ、各地の加工業者に出荷される。



きたみらい地域から集荷された加工用馬鈴しょは、ポテトチップやサラダなどに姿を変え、心待ちにしている全国の消費者のみなさんに届けられる。

【写真は9月14日、留辺蘂地区・大富の飯田和浩さんの圃場で撮影。飯田さんは加工用馬鈴しょを4.6畝作付けしています。JAきたみらい管内では加工向け馬鈴しょが464畝作付けされ、生産量は14,100トンを見込んでいます。

円写真は、加工用馬鈴しょから作られるポテトチップスです】

もくじ CONTENTS

特集①	4
平成24年産 食用馬鈴しょと玉葱の需給動向	
○季節の薫り	2
○表紙紹介	2
「にぎやか9人家族」	
○JAきたみらい ホットライン東西南北	8
○ほのぼの広場	12
・きたみらいのホームページ	
・思い出の写真	
・マイティスト	
「石器収集」	
・私のパートナー	
・わが家のアイドル	
・大きくなったら	
・おらがまちのおしどり夫婦	
・まちがいさがし	
・読者の声	
○青年女性ネットワーク	16
○JAからのお知らせ	17
○おひさまサラダクッキング	22
「サンマの韓国風照り焼き丼」	
「鶏団子のスープ」	

表紙紹介

にぎやか9人家族

外気温は30℃に達し、蒸し暑さを感じる9月15日、織田さん宅の玄関を開けると、家族の皆さん9人が揃って笑顔で迎えてくれました。

表紙を飾ってくれる長女の若菜ちゃんは、くるみ保育園に通い、「反だちとすべり台で遊ぶのが楽しいよ」と元気に話してくれました。最近、牛にも興味を持ち始め、「牛のお世話をしたい」と言うほどです。

次女の彩菜ちゃんは、みかんとアンパンマンが大好き。少し恥ずかしがり屋さんですが、「これね・・・」と遊んでいるおもちゃを見せてくれました。

そして、今年の2月には長男の翔くんが誕生。取材中、おじいちゃん清さんに抱っこされている翔くんを見ながら、お父さんの竜徳さんは、「生まれた時は、女の子とは違う感動がありました」と嬉しそうに話してくれました。7ヶ月を過ぎた現在、体重も7kgと順調に成長しています。

お母さんの由佳里さんは、3人の子供たちを見つめながら、「健康に育ち、善悪の判断が自分でできると出来る子になってほしい」と話してくれました。



【ご家族紹介】
前列左から～ひいおばあちゃんのマサ子さん(79)、ひいおじいちゃんの基さん(80)、おばあちゃんの百合子さん(56)、おじいちゃん清さん(60)と若菜ちゃん(4)
後列左から～お父さんの竜徳さん(29)と彩菜ちゃん(2)、お母さんの由佳里さん(31)と翔くん(7ヶ月)
株式会社織田ファームは、経産牛や育成牛など約150頭飼育する酪農専業経営です。

特集

平成24年産

食用馬鈴しよと玉葱の需給動向



今年9月下旬まで残暑が続く、過酷な条件下でしたが、本道への台風襲来の影響も少なく、収穫作業は、概ね順調に進んでいるかと思われます。馬鈴しよ・玉葱の選別出荷の本格稼働とともに、販売面の動向が気になりなところ。全道の生産動向、消費地情勢などを巡る状況について、特集でお知らせします。

**「全道の生産動向は」
平年作を確保**

道内の本年産馬鈴しよの作付面積は29345畝となり、前年に対し214畝増加しています。依然、男しよ、メークインは減少傾向にある一方で、ジャガイモシストセンチュウの蔓延防止とそうか病対策として、抵抗性品種が全道的に増加傾向にあります。

本年産の播種作業は、北見地区では融雪が遅れたものの、平年より2日早い開始となりました。その後、5月上旬まで好天により順調に進んだものの、5月連休終盤以降周期的な降雨、降雪により植付作業は10日中断し、平年より5日程度遅れとなりました。

植付以降は、湿害により一部、発芽不良となりましたが、全般的には順調に萌芽し、6月上旬まで低温早

越傾向で推移しました。6月中旬、7月上旬の降雨と平年並みの気温、平年以上の日照時間により順調に生育、病害の発生は少なく塊茎肥大も順調に推移しました。しかしながら植付時期の早・遅による生育状況の差は生じました。

全道的にも地域差はあるものの、総じて順調に推移し、平年並み収量が見込まれ、男しよくでは、北見地区は3420kg/10a(全道平均320kg/10a)が見込まれ、全道平均よりやや高い水準となりました。品質面および商品化率は平年並みの水準が見込まれますが、8月の周期的な降雨による圃場滞水と記録的な残暑により、高温多湿状況下の影響で塊茎腐敗が多く見られ、商品化率の低下が懸念されます。



**「需給の見通しは」
厳しい販売環境**

需給環境は、春先からの九州産(鹿児島・長崎)後すれによる集中出荷と関東近在産地の豊作による供給過多から、極端な市況低迷で推移し、8月盆前まで府県産の在庫が多く残った状況となりました。

益明け以降は、北海道産中心の販売に切り替ったものの、野菜全般の市況低迷に加え、記録的な残暑の影響により馬鈴しよの量販体制は整わず、北海道産の本格出荷に伴い厳しい販売環境が続いています。加工向けは、H21〜H23年北海道

産の減収による原料不足から、販売の抑制が続きました。また、各業態とも販売不振が続いており、H23年産の原料使用が後ずれている状況にあることに加え、府県産の安価な原料調達もあり、道産新物への切り替えが遅れている状況にあります。特にチップ向け原料は、府県産が潤沢な出回り量になったことに加えて、道産加工品種が一定の作柄が見込まれることから、供給過多になることが懸念されることです。

**「販売対応は」
量販体制の整備と柔軟な出荷体制**

府県産地の後すれと豊作基調のなか、全道の早出し出荷は順調なスタートを切りましたが、府県産残量、猛暑の影響から荷動きが悪く、厳しい販売環境が続いています。状況に応じた対策として、M・S規格を8月20日より、生食向け出荷調整を前年より早いタイミングで実施、また3Lは中心規格の市場形成整備を目的に9月16日より市場向け出荷停止を実施しています。

道産出荷のピーク時期の9〜10月に向けて、販売環境の整備が非常に重要な年であることから過剰出荷を抑制し、市況を急落させないことを最優先に販売量の拡大に向けて、柔軟な出荷を図っております。今後に向けては、消費地の気温の低下に伴う需要増加の一方で、柔軟な出荷コントロール等の対応を図り市場価格の確保に努めます。さらに需要動向及び市場からの要望を的確

にとらえ、きたみらいブランドの向上を目指して取り組みを進めてまいります。

H24産 道内男しよく出回り見込み(9/1現在)

	単位	H24見込	H23実績	5年平均
作付面積	畝	8,836	9,038	9,495
単収	kg/10a	3,320	3,040	3,190
生産量	トン	293,180	274,910	303,220
商品化量	トン	220,580	202,250	219,080
うち系統扱い	トン	191,390	171,740	184,290
ホクレン生食向	トン	100,680	88,620	97,080
ホクレン加工向	トン	54,760	52,600	53,200

H24産 道内馬鈴しよ加工向け試算 (9/1現在)
(単位：トン)

	男しよく	メークイン	その他	合計
供給計画	54,760	5,060	265,660	325,480
ユーザー計画	55,650	2,710	252,310	310,670
差	-890	2,350	13,350	14,810

**「馬鈴しよ消費拡大プロジェクト」
「じゃがいも問題研究所」を設立**

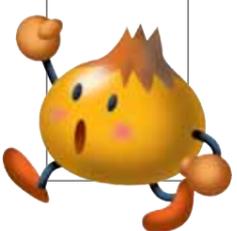
「全道馬鈴しよ取扱対策会議」では、年々消費が落ちているじゃがいも、の消費拡大を目的に「じゃがいも問題研究所」をウェブ上に設立しました。現在、日本が抱える多くの社会問題と、「じゃがいも」の関係性など、様々な切り口から「じゃがいも」に関

する情報を発信し消費拡大のPR活動を展開していきます。

初代所長には、ジャーナリストの鳥越俊太郎氏が就任し、8月31日に設立記者会見が行われ、活動がスタートをいたしました。

【ホームページURL: www.jagai mondai.jp】

玉葱



「全道の生産動向は」 順調な生育で平均単収上回る



本年の作付面積（雹害除く）は、全道で12158畝、きたみらいでは4430畝となりました。2～3月の寒さが厳しく、融雪遅れが心配されましたが、昨年同時期の植付け開始となりました。きたみらいでは4月下旬～5月連休までは、植付は順調に進みましたが、その後の断続的な降雨により作業が停滞し、5月20日以降の植付面積が25%程度あり、大幅な遅れとなりました。

オホーツク管内では、5月下旬より天候が回復し、生育は順調に推移しました。早魓傾向となる時期もありましたが、6

月中旬および7月上旬にまとまった降雨、高温が少ないこともあり、生育は順調に推移しました。

一方、空知管内では早魓傾向となり、植付作業が平年より遅れ気味で生育は抑制され、7月中旬～8月上旬にかけて気温上昇および降雨が少なかつたことで、肥大型に厳しい生育環境となりました。このようななかで、主産地の肥大は、北見▽富良野▽岩見沢と昨年同様大きく差が出ました。

8月10日時点での全道平均単収が5420kg/10a（平年を250kg上回る）見通しとなっています。

作付生産概要（8月10日現在）

年度	産地	作付面積(畝)	単収(kg/10a)	収穫量(トン)	商品化量(トン)
H24	札幌	370	4,850	17,930	15,750
	岩手	2,180	4,620	100,610	89,950
	旭川	2,484	4,990	124,060	113,110
	帯広	362	5,310	19,220	16,550
	北見	6,669	5,900	393,580	378,160
	(きたみらい)	4,430	5,900	261,370	246,888
	その他	94	4,410	4,120	3,670
全道合計		12,159	5,420	659,520	617,200
H23	全道	11,841	4,640	549,870	505,780

作付生産概要（8月10日現在）

年度	生		食		加工向け JA独自含	年産合計
	合計	年内計画(進度)	年内計画(進度)	年内計画(進度)		
24年産	385,000	246,500 (64%)	138,500 (36%)	130,090	515,090	
23年産	331,810	202,980 (61%)	128,830 (39%)	94,920	426,730	

「消費地情勢は」 良好な荷動きとスムーズな販売

8月中旬より北海道産(極早生種)

の販売が開始されました。本年産に

回る出荷量となっています。品質は8月の高温から色沢が良く汚れ玉は少ない状況で総じて良好で推移しています。

ず、依然、輸入品も視野に入れ動いている状況です。

②現状は輸入品を意識した価格設定を行っているため、北海道産への要望は高まっています。しかしながら、輸入品については今後徐々に、価格が下がることが予想され、北海道産の要望量が縮小されることも懸念されます。

③加工ユーザーに対しては、極力北海道産の要望量が減少しないように販売推進を行います。

「販売対応は」 需給調整の取り組み

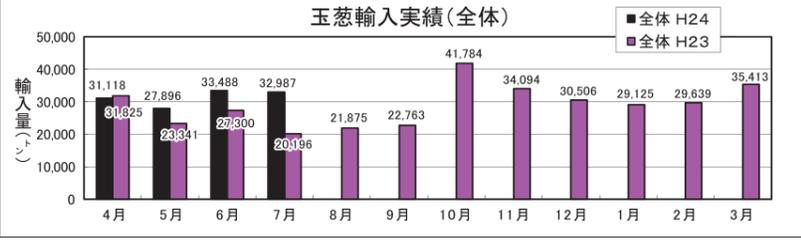
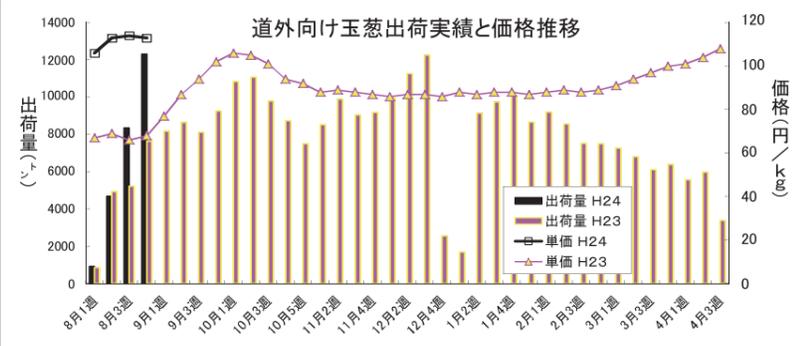
【生食向け玉葱】

- ①需給調整(早出し)対策で2万8千ト(計画2万4千トを修正)を実施。
- ②生食流通量38万5千トの計画出荷(需給調整の実施)。
- ③販売環境に応じた各種対策を講じながら有利販売に取り組める。
- ④厳選出荷の徹底。

【全道共計玉葱】

- ①加工対策については、13万0000ト
- (JA独自含む)として取り進める。

- ①9月15日現在、22309・86円
- (前年同期15064・65円)



「輸入玉葱は」 高値基調を受け前年上回る水準

【加工業務用、輸入玉葱の動向】

- ①国産の出回り量が少なかったことから、加工ユーザーにおいては原料が逼迫している状況が続きました。
- ②中国、アメリカ産等の輸入については国産原料の不足から引き続き前年以上の入荷量となっており、価格については国産相場の高値基調を受け、前年を上回る水準です。

【中国産】

- ①現状は山東省からの入荷が中心ですが、早魓による生育不良で生産量が大きく減少しており、品質にも難がある状況です。
- ②後続の甘粛省については、作付面積の減少に伴い、生産量は減少。比較的良好な作柄により、品質は

改善される見込みです。

- ③ 山東省
- 皮付60円/kg(前年35～38)
- ムキ65円/kg(前年37～39)
- ※いずれも浜渡し

【アメリカ産】

- ①9月よりワシントン州を中心に出荷が本格化することから、徐々に加工ユーザーとの商談も増えてきている状況です。
- ②価格は下がってきているものの、日本国内の相場高を受けた価格水準65～70円/kgとなっています。

【今後について】

- ①加工ユーザーへ「早期の出荷対応」を実施したことにより、北海道産への期待感が高まっており、安心感を与える総体数量となっております。

地域の住民と 交流を深める

～多彩なイベントに
500人が来場～
ONNEYU 温根湯



▲地場産の野菜を買い求める来場者

J Aきたみらい温根湯地区事務所は9月1日、同事務所前の駐車場で「第7回農業祭」を行い、町内外の住民みなさん約500人が訪れました。
同農業祭は、地場農畜産物の販売普及と、食の安全・安心のアピール、消費者と生産者の交流を目的に開催されています。
J A女性部の野菜市コーナーでは、朝採りのキャベツ、レタス、カボチ

ヤなどの新鮮な野菜が販売され、フレッシュミズのフリーマーケットには子供服などの掘り出しものが並び、大勢の来場者の人気を集めました。
その他にも、例年好評の玉葱・馬鈴薯・ニンシンの詰め放題や、青年部員が育てたジャイアントカボチャの重量当てクイズ、牛乳の無料配布やもちまきなどが行われ、お楽しみ抽選会では、抽選番号が呼ばれる度に、会場全体がどよめいていました。

植え付けから 収穫まで学ぶ

～ジュニア4 Hクラブ
24名が参加～
AINONAI 相内



▲大きなジャガイモに喜び子供たち

相内地域ジュニア4 Hクラブ支援父母の会（北町靖会長）は9月15日、会員17名と父母7名が参加し、玉葱や馬鈴薯、ニンシンの収穫作業体験を行いました。
同クラブは、次世代を担う子供たちに農業・農村に関心を抱いてもらうことを目的に、植え付けから収穫までの作業を体験してもらい、そして収穫した物を食べるまでの一連の

流れの食農教育を実施し、14回目となります。
残暑の中、子供たちは元気に土と格闘。6月始めに自分で植えた作物が大きくなっていることに、とても感動していました。
収穫された作物は、11月に全会員が集まって行う収穫祭でシチューなどにして食べる予定です。



▼長葱の皮むき作業に励む横井さん



KAMITOKORO 上常呂

長葱導入し 30年経過

～平年以上の収量を期待～

上常呂地区・広郷の横井茂さん宅では、露地栽培の長ネギ25kgが収穫期を迎え、8月末から家族総出で収穫作業に追われています。
同地区では、昭和58年から長ネギの栽培を導入して今年で30年目。横井さんは、栽培が始まった当初からのメンバーで、現在、作付けしている生産者の中で一番長い経験者です。作付されている品種は「元蔵」と

「北の匠」の2品種。今年の出来について、横井さんは「今年は低温で雨が多く、病気の発生が多かったので、特に防除には気を付けた。規格が多いので平年以上の収量はあると思う」と話してくれました。
同地区の長ネギは5戸で158kgを作付けし、約62トンの収量を見込み、主に広島県・愛知県の市場へ10月末まで出荷されます。

▼千匹のヤマベが用意された塩焼きコーナー



OKETO 置戸

置戸町の 味覚を満喫

～もっと馬力だすべえ祭に
1000人が来場～

置戸町の秋の風物詩「もっと馬力だすべえ祭」が9月22日、町公民館広場で行われました。
祭りは、町やJ Aきたみらい置戸地区事務所などでつくる実行委員会が主催し、27回目。人気のタマネギやバレイシヨの詰め放題コーナーには、開始前から長い列ができ、用意した各1・5kgはたちまち無くなりました。

350席のバーベキューコーナーが並んだ会場では、家族連れのみならず、ヤマベの塩焼きや手打ちそばなど買い求めて、旬の味覚を味わっていました。
会場内では、カボチャの重量当てクイズ、うどんの早食い大会、豪華景品が当たる抽選会など多彩なイベントがにぎやかに行われました。

上々の品質 収量に笑顔

～端野農業青年大学 馬鈴薯を収穫～



▲収穫された馬鈴薯を見て微笑む会員

端野農業青年大学(菅原友和会長)は9月14日、馬鈴薯の収穫を行い、会員11名が参加しました。
同大学は、端野町内の農業後継者教育の場として昭和43年に開設され、現在、会員は16名で自主的活動を行っています。
収穫した馬鈴薯を使用した試食や販売等を通し、様々なイベントや催しに参加しながら、消費者へ地場産馬鈴薯のPRをしています。

今年度も、「太陽まつり」でふかし芋の提供を行ったほか、例年開催している端野農業物産フェアでは、馬鈴薯詰め放題や無料配布される豚汁の材料として提供を予定しています。
菅原会長は「今年の馬鈴薯は、品質・収量ともにも上々。農業物産フェアの材料提供だけでなく、販売も含めた活動展開を考えていきたい」と意気込みを話していました。

暑さに負けず 和やかにプレー

～年金友の会 パークゴルフ大会～



▲ボールの行方を見守る会員たち

JAきたみらい本店・年金友の会(福田博道会長)は9月19日、川東河川敷で第5回パークゴルフ大会を行い、会員27名が参加しました。
前日まで天候が懸念されましたが、暑さの残る秋晴れの下、今年最後の大会を迎えることができました。
会員の皆さんは、3、4人編成の計7チームに分かれてゲームを行いました。和やかな雰囲気の中、各ホ

ールからは歓声上がり、日頃の練習成果を発揮されていました。
プレー中、会員の皆さんは「農業の息抜きになる」と話しており、会員同士の交流を深めるとともに、心身ともにリフレッシュできました。
本年度、5回行われた大会での年間総合優勝者は、男性の部は佐東元さん、女性の部は丸子セツ子さんでした。

東 西 南 北

▼真剣な面持ちで普及員の説明を聞く皆さん



深まきを避け 適量・適期作業

～秋小麦は種前講習に 組合員19名参加～

網走農業改良普及センターによる秋まき小麦の種前講習会が、留辺蘂・瑞穂地区で9月11・12日に行われ、両地区で計19名の組合員が参加しました。
今回の講習会では、普及センターの職員から、瑞穂地区で生産された小麦で作ったうどんが参加した組合員に振る舞われ、「コシのある食感を楽しみました。」
その後、吉川普及員と佐竹普及員

から、平成24年産の秋まき小麦における課題や、今後の種作業での深まきを避けるといった注意事項、最適は種量と時期について説明を受けました。
講習会後、今部地区運営委員長は「自分たちで生産した小麦を使ったうどんはおいしかった。は種作業は深まきに注意して安定した収量を目指したい」と意気込みを話してくれました。

▼茎と実を分け、収量測定する部会員



良質粗飼料 確保を目指して

～収量調査で 品種選択の参考に～

訓子府地区の若手酪農家をつくる訓子府町酪農研究部会は9月13日、会員の森下智崇さんの圃場でデントコーンの収量比較調査を行いました。
この調査は粗飼料の原料価格高騰が続く中、良質な粗飼料確保することを目的として行っています。
当日は同会の会員や、ホクレン、JA職員、種苗メーカーなどの担当者14人が参加しました。

収穫を間近にした「チペリウス」など15品種を刈り取り、稈長や熟度、重量などを調査しました。さらに、品種ごとに茎と実をネットで乾燥させた後、乾物収量測定も行われます。
竹本専也会長は「病害も少なく、良質な飼料が収穫できそう。調査結果は、来季以降の種子選択の参考にしたい」と話していました。

私のパートナー



今月号の「私のパートナー」は、共通の友人の紹介で出会い、結婚12年目になる稲田耕さん、静枝さん夫婦を紹介いたします。

元気に明るく

温根湯地区・滝の湯
稲田 耕さん(38歳)
静枝さん(38歳)

- Q 結婚されたのはいつですか？**
平成13年の2月です。
- Q 知り合ったキッカケは？**
共通の友人の紹介で知り合いました。
- Q 初めて合った時の印象は？**
耕さん…「おとなしそうな人だな〜。」
静枝さん…「明るくて楽しい人だな〜。」
- Q 結婚を決意した大きなポイントは？**
静枝さんの実家は農家をしていることもあり、農業の仕事を理解してくれていたからです。
- Q どんな家庭を築きたいですか？**
家族仲良くすごしていきたいです。子供達は元気に明るく育ててほしいです。
- Q お互いに感謝しているところは？**
耕さん「毎日おいしいごはんを作ってくれて、家事、育児もしてくれて、感謝しています」
静枝さん「普段忙しい中でも、私が大変な時には助けてくれるので、ありがたいと思っています」
- Q 今後の目標は？**
高品質、高収量の作物の生産を目指しながら、ゆとりのある農業をしていきたいです。
写真のお子さんは左から雄介くん(1歳)、未奈美ちゃん(10歳)、奈々美ちゃん(8歳)です



【写真説明】
 相内中学校グラウンドで、美園青年団優勝写真。当時の優勝メンバー下段左から二人目で賞状を持っているのが伊藤さんです。

相内地区・美園
伊藤 光則さん(76歳)



思い出の写真

青年団野球大会で優勝

この写真は今から50年ほど前、相内中学校で行なわれた、相内青年団体協議会の野球大会で美園青年団で参加、優勝した時に撮ったものです。
 伊藤さんは中学校の頃に野球を始め、卒業後には青年団に入り、農作業を手伝いながら団員として野球の練習をしていました。
 大会前は朝から晩まで練習に明け暮れていたと振り返る伊藤さん。大会が近づくと、会館に泊り込みで合宿し、ミーティングや相手チームの分析などの話し合いを一献交えながら、優勝に向かって一致団結して練習したことが、今となっては楽しい思い出です、と話してくれました。
 また、日頃の練習・合宿の成果もあり、相内地区に青年団野球部が6団体あるなか、3連覇したことが何よりの自慢です、と当時の思い出を語ってくれました。
 現在は、ニンジン5反とカボチャ1反を作付けし、奥さんと二人で、ハウス野菜作りを楽しんでいます。

マイテイスト 石器収集

My Taste
 布田さんは、黒曜石の石器を収集しています。集め出したきっかけは、小学生の頃に畑仕事を手伝っていた時、小さいヤジリの石器を見つけたことで、それ以来、畑に黒いものを見つければと仕事の手を休めて周辺を探るようになったそうです。収集し始めて50年以上たちますが、今では400点くらいの石器が集まりました。
 今から8年前に、新聞に掲載されていた「石器づくりシンポジウムinしらたき」に参加したのをきっかけに、自分でも黒曜石を加工するようになり、農閑期になってから、温かいストーブの前を陣取って作業を始めるそうです。作り方は、鹿の角を道具にしてコツコツとたたいたり、グリグリと押しついたりして徐々にヤジリの形にしていきます。あと一歩というところで割れたりすると、とてもガッカリするけれど、昔の人の器用に作られた石器に近づけるように、またはじめからコツコツと根気よく作っています。
 置戸地区には100箇所近くの遺跡があり、半分以上は見て回ったけれど、まだ行けていない場所があるので、全部回ってみたいと語ってくれました。



置戸地区・勝山
 ふだいさお
布田 功さん(66歳)



▲ 集めてきた石器の数々

ほのぼのの広場



きたみらいの
ホープさん

消費者へ 美味しい物を

訓子府地区・高園
谷口 将太さん(23歳)

将太さんは畑作3品と玉葱を作付けしている秀輝さんとまゆみさん夫妻の三男で、今年で就農して3年目です。

- 趣味は？**
TVを見たり、インターネットを見たりすることが好きです。
- 好きな食べ物、嫌いな食べ物は？**
好きな食べ物〜ラーメン、麻婆豆腐など中華っぽい物が好きです。
嫌いな食べ物〜生もの全般と野菜が苦手です(笑)
- 理想の女性は？**
一緒にいて落ち着ける人が良いです。
- 結婚はいつ頃までに？**
30才前後までにしたいと思っています。
- 農業に対する抱負は？**
品質が良く、食べて美味しいと思っていただける物を作りたいと思っています。

11月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部北見支部の？さんを予定しています。広報編集委員が突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



9月号クイズの当選者

9月号のまちがいさがしの答えは「2. 3. 8. 9. 11」でした。正解者34名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの西川組合長にお願いしました。

()内は地区名

- 樋口 友恵さん(温根湯)・風早 葉月さん(訓子府)
- 大関 博子さん(温根湯)・田井 滉人さん(上常呂)
- 小坂 正枝さん(訓子府)・荻野 温さん(北見)
- 及川 京子さん(訓子府)・亀谷 弥生さん(北見)
- 笠野真太郎さん(訓子府)・井上二美子さん(端野)

以上の方々には、白花豆を使用した菓子処大丸のお菓子「白花畑」をプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、永田養蜂(置戸町)の天然ハチミツ(200g)をプレゼントします。

感 動を沢山もらったロンドンオリンピックも終わりました。北見出身の選手がメダリストなんてすごいですね。

高瀬選手の今後の活躍に期待しています。

(留辺蘂地区・坂下 みちるさん)

日々、眠い目をこすりながら応援した甲斐がありましたね。

こ んど、おひさまサラダがきたらまたやってください。

こんどはあたりますように。

(端野地区・富樫 柑音さん)

是非是非、また応募して下さいね。

今度はあたりますように私も願っています。

読者の声

実 のりの秋、喜ばしいですね。毎日の仕事、家の中、牛の仕事、野菜の事、農業を初めて35年くらい、今年も無事、秋が迎えられました。一緒に仕事をしてくれる主人にも感謝です。

「ありがとう」

(温根湯地区・三上 順子さん)

感謝の気持ち、大事です！直接、言葉で伝えてあげて下さいね。

高 知県の高校生の農業実習、暑い中お疲れ様でした。北海道を希望して北見に来てくれて、もっと涼しかったら良かったのに。今年は暑すぎでしたね。とつても頑張っている姿が写っていて感動しました。

(北見地区・匿名希望さん)

将来の農業を担っていく若者を受け入れて下さった農家の方々、ありがとうございました。

大きくなったら



北見地区・大正
西原 彪賀くん
5才(7才)
西原 彪くん

農家に

ほくは、大きくなったら、お父さんと同じ農業をやりたいです。今年は、お父さんの運転するトラクターに乗ったり、畑の草取りやジャガイモの選別を手伝ったよ。

好きなことは、絵を描くことです。

魚屋さんに

ほくは、生き物が好きで、家でネコやカブトムシを飼っています。

大きくなったら・・・まだわからないけど、魚屋さんになりたいな。

西原宏さん、真知子さん夫妻のお子さんです。二人でよくゲームなどをして遊ぶ、元気な仲良し兄弟です。

ほのぼのの広場



端野地区・協和
谷川 智 洗くん(1歳7ヶ月)

テレビに合わせダンス!

人見知りをしないで、誰にでもニコニコしてくれる智洗くん。お母さんと外で出迎えてくれて、元気に歩き回っていました。

絵本を読んだり、教育テレビ「いないいないばあっ!」を見ながら音に合わせて、キャラクターの動きにあわせて踊るのが大好きです。好きな食べ物はポークピッツや納豆、果物で、お母さんの後につき、米とぎや掃除のお手伝いに積極的です。床のゴミをとるコロコロで遊びながら、たくさんお掃除をしてくれます。

きれいい好きで、意外に神経質な一面もある智洗くんにお母さんは、「スポーツなどで体を動かして、元気ですくすくと育てほしい」と話してくれました。

智洗くんは端野地区・協和の谷川純一さん、朱美さん夫妻の長男です

おらがまちの

鉄人さん

お互いに気を付け

おしどり夫婦



上常呂地区・上ところ

上野 鉄人さん(82歳)
美利さん(78歳)

鉄人さんは昭和5年、6男7女、13人兄妹の3男として上常呂で誕生、上常呂尋常高等小学校を卒業後、戦時下にある東京の飛行場で2年と花巻で半年、軍事工場に勤め、戦後、上常呂へ戻り農業に従事しました。当時は稲作5haと畑5ha耕作していましたが遠隔地の4ha手放し山林8ha購入、その頃から地域の人の勧めで玉葱を作付。価格の良い頃で同じ面積の米より3倍は収入があったそうです。また消防団に50年以上在籍し、地域の消火活動に尽力。長年、分団長の職も務め、消防庁長官から感謝状を授与されています。「火災があつたら家の仕事を放って現場へ駆けつけなければならぬ」と話してくれ、妻に「負担を掛けた」と話しては

美利さんは昭和8年に置戸町勝山で2男4女の長女として誕生、中学校を卒業後、実家で苗木の苗圃やハツリなど農作業を手伝っていました。22歳で鉄人さんと結婚、上常呂へ嫁いできました。4年後に、鉄人さんの父が病気で他界、家長となった鉄人さんと一緒に働き始めました。また、鉄人さんが50歳の時に助けられながらも、地域の農作業を続けました。美利さんは「今でも2人揃って健康で農業が続けられるのも、あんなに嬉しいことはありません。お互いに気を付けてください。」と話してくれました。旅行に行くことが楽しみですが、

INFORMATION



▲牛肉やトウモロコシを焼く、つばめグリルのシェフ

「つばめグリル」は都内でレストランや喫茶店、惣菜店など25店舗を展開しています。この日は石倉知忠副社長やシェフ7名が訪れ、食材を供給する生産者と新たなメニュー開発をテーマに交流しました。シェフの皆さんによって、北見地方の玉葱や馬鈴薯、なすび、パプリカに加えホタテやシマエビ、シシミなどを使った料理12品が振る舞われました。

農家とシェフ料理で交流

東京のレストラン「つばめグリル」

JAきたみらいと東京のレストラン「つばめグリル」は8月29日、JAセンター事務所にて「生産者とシェフの交流会」を行いました。生産者など約80人が参加し、地元産農畜産物を使った料理を楽しみ、エールを交換しました。



▲大皿に盛り付けされた「エビのベーコン巻き」

同レストランの石倉知忠副社長は「13回目となる交流会で、生産者の皆さんに味わってもらうことは最高の喜びです」と挨拶。JAの西川孝範組合長は「一流シェフがオホーツクの食材ですばらしい料理を作ってくれました。一品一品味わいたい」と答えました。

きたみらい馬鈴薯振興会の堺信幸副会長は、「ジャガイモと牛肉の組み合わせが美味しかった」と高く評価していました。

「運動会」今年もやります

フレミズ8支部合同活動

8支部の会員が交流を深めることを目的に、毎年秋に合同活動「会員研修会」を開催しています。平成21年より実施している「運動会&懇親会」、好評につき4回目の開催を致します。例年より楽しく充実した内容にできるよう役員会で協議しています。



▲昨年からの新競技「フラフープリレー」

JAきたみらい青年部（佐藤正人部長）は9月13日、北見市相内美園にある青年部のアピール看板周りに植えられている景観用緑肥のすき込み作業を行いました。同看板は農畜産物の安心・安全を消費者へアピールするために平成16年に同青年部が設置。以降、毎年周りの圃場に緑肥用ひまわりを播種し、環境美化に努めています。今年のはまわりは、6月14日に青

アピール看板の圃場「ひまわり」すき込む

年度の役員11名で播種。低温の影響で例年より1週間ほど遅く、お盆過ぎに開花しました。約1ヶ月の間ですが、多くの人の目を楽しませてくれました。作業は相内支部の森谷祐樹支部長が担当し、1時間程で終了しました。この活動は次期役員へ引き継がれる予定で、また来年も元気なひまわりを咲かせてくれる事でしょう。



▲役目を終えて枯れた「ひまわり」と、すき込み作業中の森谷支部長

- 日時 11月14日(水)午後10時から
○会場 訓子府スポーツセンター
○内容 ■運動会■
【競技種目】
- ①ミニ菓子食い競争
 - ②フラフープリレー
 - ③綱引き
 - ④風船運びリレー
 - ⑤玉入れ
 - ⑥作業着お着替えリレー
- その他
・当日は託児所を開設
・上位チームに賞品を用意
・(参加賞もあります)
・運動会終了後、訓子府地区事務所懇親会を開催

北見産農産物を市民に発信

北見地産地消フェスタ2012

北見市地産地消推進委員会では9月8日、北見駅南の多目的広場で「地産地消フェスタ2012」を開催し、約6千人が地域住民が訪れました。同フェスタは地域産業の活性化を目指し、1市2町及び消費者団体・漁協・農協で構成する同推進委員会が主催し今年で3回目の開催となります。開会の挨拶で山川尚子委員長は「私たちが住むこの地区は、とても豊かな食材に恵まれており、この安心安全な食材をみんなで発信していこう」と呼びかけていました。



▲牛乳の無料配布に並ぶ来場者

コイン、枝豆など旬な野菜が並んだほか、オホーツク塩焼きそば、オホーツク干貝柱塩ラーメン、ホタテの浜焼きや、エソシカ肉を炭火で焼いた香りが会場に漂い、オニオンポーク丸焼きのコーナーには順番待ちの長い列ができていました。当日はJAも出店し、カレーやカトポテトのフライ、赤・白玉葱やドレッシング・オニオンコンソメスープなど販売。さらに、牛乳消費拡大キャンペーンでは牛乳300個を無料配布しました。会場では、地元産もち米で作ったもち撒きや、市内幼稚園の児童による合唱などのアトラクションも行われました。



▲旬の野菜を販売するJAの直販ブース

年内活動予定

青年部

- 第42回オホーツクJA青年部研修大会
○とき 11月16日(金)~17日(土)
○ところ 温根湯「大江本家」
- 第61回全道JA青年部大会
○とき 12月6日(木)~7日(金)
○ところ 札幌パークホテル
- 九州地方農業視察研修
○とき 12月11日(火)~14日(金)
○ところ 鹿児島・熊本・長崎・佐賀・福岡

女性部

- JA北海道リーダー研修・家の光大会
○とき 11月8日(木)~9日(金)
○ところ 札幌市「シャトレゼ ガートーキングダム サッポロ」
- オホーツクJA女性部長・副部長・事務局合同会議
○とき 12月4日(火)~5日(水)
○ところ 温根湯「大江本家」
- 近畿地方農業視察研修
○とき 11月27日(火)~30日(金)
○ところ 和歌山・三重

フレミズ

- オホーツクフレッシュミズ部員研修会
○とき 12月3日(月)~4日(火)
○ところ 温根湯「大江本家」

外郭組織合同研修

- 青年部・女性部・フレミズ役員合同道外視察研修
○とき 12月11日(火)~13日(木)
○ところ 関東方面(予定)

INFORMATION

「スノーマーチ」掘って味わう

生協組合員と収穫体験交流会

コープさっぽろ北見地区本部とJAきたみらいが協力し9月23日、馬鈴薯の新品種「スノーマーチ」の収穫体験交流会を開催し、同地区生協組合員の家族ら17人がスノーマーチの掘り取りを体験しました。

一昨年から市内三輪店内に「きたみらいコーナー」を設置し、同年から生産者と消費者の交流を一層深める目的で交流会を続けています。

参加者は訓子府町でスノーマーチ50㍗栽培する佐藤茂樹さん方を訪問。収穫適期を迎えたスノーマーチの畑で、JA企画開発グループの流水マネージャーから生育状況などの説明を受けました。

その後、家族揃って芋掘りに挑戦。子ども2人と昨年に続いて参加した



▲収穫を楽しむ生協の組合員



▲収穫したスノーマーチを前に、参加者全員で記念の1枚

清里町の片橋さおりさんは、「ホクホク感があって大好きです。今年のスノーマーチは去年より大きいです」と笑顔で話していました。

収穫体験後は訓子府地区事務所ですノーマーチを使ったカレーライスを参加者全員で味わいました。

地場産農産物で親子クッキング

親子12組が料理3品に挑戦

訓子府町地域推進検討委員会は9月1日、同町公民館で「ピストロくんねっぶ親子クッキング」を開催しました。

同会は同町教育委員会が本年度、町内の小中学校PTAと連携し食育に関する検討委員会を設置し、次代を担う子供たちに地域の農業や食に関心を持ってもらう事を目的に、外部講師を招いた講演会などの各種事業が取り組まれています。

当日は、同町の小学校2年生から6年生までの児童12人と父母12人が参加しました。講師は町内で農業青



▲石川さんの手ほどきで玉葱をスライス

年など16人のメンバーで、町内の地場産品の料理を提供する1日限りのレストラン「ピストロくんねっぶ」を続けている石川修さん。

訓子府産の玉葱や馬鈴薯、トマト、ニンニクなどを材料に、「ピッツア」「ジャガイモのグラタン」「オニオンスープ」の3品に挑戦。児童は父母に手を支えてもらいながら、自分の手より大きな玉葱を、涙を流しながら切っていました。

お母さんの智美さんと参加した2年生の山田陽登くんは、完成した3品を味わいながら「ジャガイモのグラタンが美味しかった」と満足顔で答えてくれました。

最後に講師を務めた石川さんが、パソコンの画面を通して、小麦や玉葱、馬鈴薯の収穫作業を参加者へ説明しました。



▲出来たての「ピッツア」を美味しく食べる児童

販売拡大へ産地研修

JA全農青果センター職員が選果体験

全国各地から届く農産物を大手量販店に販売する、JA全農青果センターの第一線の職員が9月11日から12日の2日間、昨年に続きJAきたみらいで実習体験を行いました。

同センターは昨年より職員教育の一環として、出荷JAを訪問し、生



▲倉本所長(中央)の指導を受け選別作業に励む、正路リーダー(左)と伊藤さん(右)

産現場を自ら体験することで、販売拡大につなげることを目的に実施しています。

今回訪れたのは、同センターの正路光希リーダーと伊藤洋介さんの2名。正路リーダーは神奈川センター青果事業部野菜第3グループで担当青果物は玉葱、伊藤さんは東京センター青果事業部野菜第3グループで担当青果物は馬鈴薯です。

実習体験は当初、玉葱と馬鈴薯の収穫作業を予定していましたが、あいにくの雨により、訓子府地区の玉葱選果場と馬鈴薯選果場で選別作業を体験することになり、選果場の鏡所長と倉本所長から選果システムの説明を受け、さっそく手選ローラーに乗って流れてくる玉葱と馬鈴薯を選別しました。

2人は「今までは出荷されてきた玉葱や馬鈴薯を手で触る程度で、産地では大勢の人の手や目によって変形や傷などを取り除き、規格ごとに選別されている大変さを知りました」と話し、「量販店のバイヤーと接する時、生産現場の思いも伝えながら販売に努力したい」と意気込みを話してくれました。

田んぼに歓声と笑顔

相内、東相内小で稲刈り体験

JA広報誌「おひさまサラダ」7月号の特集で紹介した相内・東相内小学校で植えた稲穂がたわわに実を付け、両小学校で9月26日に稲刈り体験を行いました。

今回の稲刈り体験は、相内小学校が全校児童98人、東相内小学校は5年性25人が参加しました。

児童からは、「稲を刈るのは楽しい」「こんなに重たくなってる」といった歓声上がり、笑顔あふれる収穫体験となりました。

刈り取った稲は両校の敷地内で天日干された後、年末に餅つきを行い、学校給食で全児童に振る舞われる予定です。



▲刈り取った稲を片手にVサイン



▲元気よくリヤカーを引く児童



▲秋晴れのもと、はさ掛けされる黄金色の稲

INFORMATION

第8回 理事会報告

9月27日、午前9時00分より第8回定例理事会が開催され、報告事項11件、議決事項6件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①内部監査（金融部門 融資）報告について
 - ②組合員状況報告について
 - ③財務状況報告について
 - ④人事発令について
 - ⑤第1次出資増口計画に基づく見直しについて
 - ⑥作況調査（9月15日）報告について
 - ⑦平成23年産もち米追加精算について
 - ⑧生乳生産状況及び個体取引価格状況について
 - ⑨2012北海道ホルスタインナショナルショーの結果について
 - ⑩馬鈴しょ・玉ねぎの販売・選果状況について
 - ⑪「2012JAきたみらい長いもまつり&収穫感謝祭」開催について
 - ⑫訴訟案件について
 - ⑬平成25年度職員採用について

- 【議決事項】
- ①出資減口及び持分譲渡について
 - ②固定資産の取得及び処分について
 - ③諸規程の改正について
 - ④第27回JA北海道大会議案に係る組織協議について
 - ⑤平成24年もち米概算金について
 - ⑥米施設乾燥調整統一利用料金設定について

新規採用職員の紹介

本年8月より新規採用された職員を紹介致します。



営農振興部
企画振興グループ
山内 庸平

- ①生年月日 昭和55年10月2日
- ②出身校（最終学歴） 北海道大学大学院農学院
- ③趣味・特技
趣味は読書（ホラー・ミステリー）で、特技は二層式洗濯機とテレビのない生活です。
- ④抱負
遅れてきたルーキーの山内と申します。昨年は訓子府サテライト研究員として、組合員の皆様には大変お世話になりました。
私は農業振興を通して、誰もが自分の町に愛と誇りを抱き、かつての住民に戻ってきたいと思い、他所に住む人たちが住んでみたいと憧れるような地域づくりの実現をお手伝いしていくことであります。宜しくお願いします。



▲勢いよくスタートを切る、玉ねぎ・にんじんコース（3km）の参加者

北見市や教育委員会、同商工会・JAなど7団体で構成する「たんのカレーライスマラソン実行委員会」は9月16日、市内端野町の屯田の杜公園で、第27回たんのカレーライスマラソンが開催されました。

このマラソンは、4人1組で、4コース毎に置かれた食材を集め、ゴール後にカレーを作って参加者で食べるという一風変わったマラソンとなっています。

当日は曇天の中、200組のランナー800人とその応援合わせ約1200名が集まり、2kmの芋コース、

走って食べて楽しんで たんのカレーライスマラソン



▲出発前に威勢良く拳を上げる参加したJA職員

3kmの玉葱人参コース、4kmの肉コースと5kmのカレーコースに分かれ、各自受け持ちの食材を調達していました。

このマラソンには毎年、JA職員も参加しており、地元農産物をアピールしながら走っています。

ゴール後、参加者は調理を開始し



▲カレーの大食いコンテストに参加した仲間を応援する選手のみなさん

会場はカレーの美味しそうな香りが漂う一方で、アトラクションでは仮装コンテストや抽選会が行われ、カレーの大食いコンテストでは、1等賞金2万円を目指し、男女各10名は苦悶の表情を浮かべながらも口いっぱいカレーを頬張り、会場からは「負けるなー、いつも通りの食べろー」など応援の声が上がっていました。



▲第2部の主席牛となった稲辺さんの所有牛を囲み関係者で記念撮影

別表1【きたみらい出品牛入賞内訳】

部	入賞序列	名	号	地区名	出品者
1	3等5席	DH ダブル サンダー		北見	山内 雅斗
	3等5席	アーギー シャウト ビレッタ		置戸	蛸名 武大
2	1等1席	ロイヤルQueen アウトウツリンダーチャン		訓子府	能城 薫
	3等1席	DH スター アイオン		北見	山内 雅斗
3	3等10席	クレイジヤスクール ギュリ		置戸	(有)小山牧場
	2等2席	KDC ファイビ シャト		北見	北見デイリークラブ
4	2等7席	ハイリー Queen アイオン スモーカー		訓子府	高倉 英介
	1等2席	ロツクウビービー サラフィナ		北見	(有)上野牧場
8	3等1席	OM ウインチ シュガー		北見	小野寺 正典
	1等5席	パレルファーム ハツビー ジャグラ		上常呂	神田 典廣
10	3等13席	ヨシノファーム ララ サンシャイン		北見	吉野 英之
	1等5席	アポロゴールドウインジャネット		相内	(有)小野牧場
13	2等1席	クレイジヤスクール ルーシーリユー		置戸	(有)小山牧場
	3等6席	ホナミMBB ポルトン アニー		訓子府	龍田 茂久
14	1等2席	パーチヒル アール D カイト		訓子府	渡辺 重明
	2等11席	バイングリーン ポルトンリーファ		置戸	中村 信一
15	3等5席	ホナミMBB ゴールドウインウーマン		訓子府	龍田 茂久
	3等2席	デーパー チェアマン ゴールド コピア		訓子府	平田 明奈
17	1等3席	ローズエール ブルーローズ ET		訓子府	森岡 えり子
	2等6席	グリーンパスチャー MC ヴァインデイクーション イワテ		訓子府	渡辺 正昇

9月22日と23日の両日、安平町の北海道ホルスタイン共進会場で「2012北海道ホルスタインナショナルショー」が開催されました。

道内外からえりすりの455頭が出品し、大樹町の酪農家木村博文さんが主任審査員を務め、月齢別に分けられた各部毎に、乳牛の体型・

乳房を含めた資質の評価により審査が行われました。

JAきたみらいからは、管内共進会で選抜された20頭が出品(別表1)。その中で、特に訓子府地区の稲辺文男さん所有牛(出品者・能城薫さん)の乳牛「ロイヤルQueen アウトウツリンダーチャン」が育成牛

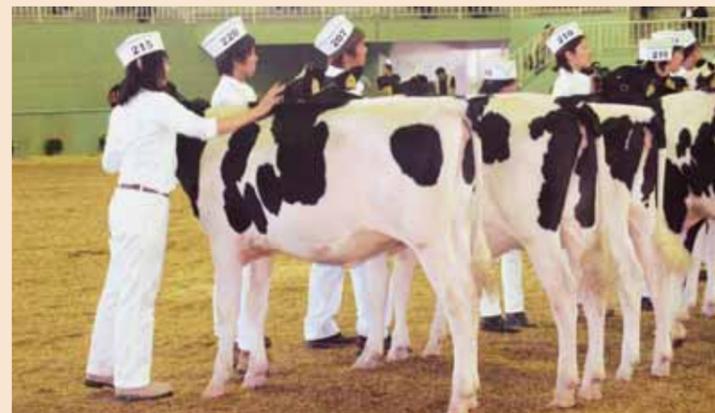
としてのバランス、資質が高く評価され、シユニアカップ育成シユニアクス(生後9カ月以上12カ月未満)で主席牛を獲得しました。

また、本共進会の付帯行事として「シユニア酪農教室及び写真コンテスト」並びに「リードマンコンテスト」が開催され、きたみらいシユニアホルスタインクラブより酪農教室に6名、リードマンコンテストに北見地区の上野秀俊くん(高2)と上

きたみらいから20頭出品

2012北海道ホルスタインナショナルショー

稲辺さん所有牛 育成シユニアクラス主席牛に



▲第2部の審査で引きつけする能城薫さん・写真左(所有者・稲部文男さん)

常呂地区の神田修輔くん(中2)北見地区の山内雅斗くん(中1)が参加し、山内雅人くんが小・中学生の部において、セカンドベストリードマンに輝きました。

写真コンテストでは北見地区の上野秀俊くん(高2)が第2部金賞1席に、温根湯地区の村井敦くん(高3)が第1部銀賞1席に、上常呂地区の神田修輔くん(中2)が第2部銀賞2席に、北見地区の山内雅斗くん(中1)が1部銅賞にそれぞれ入賞されました。



サンマの韓国風照り焼き丼

【エネルギー596kcal（1人分）】

【作り方】

- ①ナスは5～6mm厚さに切る。シシトウはヘタを切る。
- ②サンマは頭と内臓を取り、3枚におろす。たれの材料を合わせる。
- ③サンマの両面にかたくり粉をまぶす。フライパンにごま油大さじ1を熱し両面を焼く。サンマを取り出し、フライパンの汚れをふき取る。
- ④サンマの身の部分を上にして、フライパンに並べ、たれを加えて中火で煮る。たれを掛けながら煮詰める。
- ⑤フライパンを洗って、ごま油小さじ2を熱し、①を炒める。ごまと塩を振る。
- ⑥器にご飯を盛り、のりをちぎって散らし、サンマと⑤を盛り、糸トウガラシを飾る。

メモ

サンマの3枚おろしは魚売り場でおろしてもらえば簡単。アジ・イワシなどでも同様に。韓国風のたれが魚の臭みを消して、おいしく食べられます。野菜をたくさん付け合わせて、バランス良く仕上げましょう。

【材料：4人前】

温かいご飯	800g	ナス	2～3本
サンマ	2～3尾	シシトウ	8～12本
かたくり粉	大さじ2	白ごま(半すり)	大さじ1
ごま油	大さじ1	塩	少々
たれ		ごま油	小さじ2
砂糖	大さじ1	焼きのり	1枚
コチュジャン	大さじ1	飾り用	
酒	大さじ1	糸トウガラシ	少々
しょうゆ	小さじ2		
酢	小さじ1		



鶏団子のスープ

【エネルギー157kcal（1人分）】

【作り方】

- ①キャベツは芯を取り、4～5cm長さに切る。
- ②オクラは小口切りにする。ミニトマトは薄い小口切りにする。
- ③タマネギはみじん切りにする。Aと合わせて、よく混ぜる。ひと口大の団子を12～16個丸める。
- ④鍋に水とスープのもとを入れ中火にかけ沸騰したら、①③を入れて約10分煮る（止める少し前にオクラを入れる）。しょうゆ、塩、こしょうを入れて、味を調える。火を止めて、ミニトマトを加える。

メモ

脂の少ない鶏肉なのでさっぱりヘルシーです。軟らかな団子はスプーンですくって召し上がれ。中に入れる材料も豆腐を加えたり、野菜を増やしたり、自由自在。これから出回る旬の野菜をたっぷり入れてどうぞ。

【材料：4人前】

キャベツ	4枚(500g)
タマネギ	1/2個
オクラ	5本
ミニトマト	5～6個
鶏ひき肉	200g
パン粉	カップ1/2
卵	1個
塩	小さじ1/3
こしょう	少々
水	カップ5
チキンスープのもと	大さじ1
しょうゆ	小さじ1
塩・こしょう	各少々

編集後記

- ・玉葱や馬鈴薯、野菜、米など多くの作物が収穫の最盛期を迎え、また、各地区では農業に関わるイベントが多く開催されました。
- ・この時期、JAでも各種のイベントや施設見学などを通して食農教育の手助けをしています。参加している子供たちの興味津々な目を見る度に、「いろんな事を教えてあげたい」と思っているのですが、予想だにしない質問が続出する事が多く、焦って汗まみれになることが多々あります。
- ・今月号は、そんな収穫に関わる催しや祭りが各地区から集まり、“秋”を感じさせる編集となっています。(酒井 沙織)

JAきたみらい概要

(平成24年9月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,822人
- ・組合員数(准) 5,664人
- ・組合員戸数(正) 1,218戸
- ・貯金 100,356百万円
- ・貸出金 22,577百万円
- ・出資金 5,090百万円